

令和6年度
当初予算における
新規・改善事業

令和6年度農政水産部の重点的な取組

「第八次宮崎県農業・農村振興長期計画」

“農の魅力を生み出す”人材の育成と支援体制の構築

○ 「みやざきで就農！」サポート事業【43百万円】
 ■新規就農者が就農しやすい環境構築、新規就農者の確保・技術習得

改 持続可能な農業実現人材確保事業【37百万円】
 ■雇用マッチングのデジタル化、受入れ環境整備

改 農業外国人材確保・定着体制構築強化事業【31百万円】
 ■外国人材の受入れやフォローアップ体制の整備

○ みやざき農業の未来を切り拓く人材育成カリキュラム強化事業【17百万円】
 ■農業大学の教育強化

○ みやざき新規就農者育成総合対策事業【895百万円】
 ■新規就農者の確保・育成

新 みやざきの畜産経営サポート事業【45百万円】
 ■畜産ヘルパー制度や畜産コンサルタント体制の強化

“農の魅力を届ける”みやざきアグリフードチェーンの実現

新 G7宮崎発ピーマン自動収穫技術活用事業【24百万円】
 ■ピーマン自動収穫機での栽培体系確立

新 畑かん営農ポテンシャル向上事業【2百万円】
 ■省力化技術の開発、畑かん利活用の促進

改 みやざき輸出産地ステップアップ支援事業【41百万円】
 ■輸出産地づくりの促進

新 スマート&グリーンで目指す耕種農業産出額UP事業【18百万円】
 ■産出額増加に係る機械導入やスマート化・グリーン化の実証

改 農地集約化基盤整備事業【5百万円】
 ■担い手への農地の集積・集約化に必要な基盤整備

改 持続的な農の物流構築事業【15百万円】
 ■効率的な輸送体制の構築

○ みやざきデジタル施設園芸産地構築事業【49百万円】
 ■施設園芸のデジタル化

新 第13回全国和牛能力共進会対策事業【12百万円】
 ■全共出品対策

新 畜産飼料流通効率化緊急支援事業【18百万円】
 ■飼料配送におけるDX化

新 みやざきデータ駆動型農業実践・展開支援事業【17百万円】
 ■データ共有基盤の効果的な実践・展開

改 みやざきの酪農経営持続化支援事業【16百万円】
 ■酪農経営における総合対策

改 地域資源高付加価値化ビジネス総合支援事業【52百万円】
 ■地域食資源の高付加価値化の取組を総合支援

新 高性能スマート機械導入モデル経営体支援事業【40百万円】
 ■高性能スマート機械の導入

新 みやざきの中小家畜生産スマート化事業【5百万円】
 ■豚舎環境センシング機器の導入

新 県産牛肉消費拡大緊急対策事業【9百万円】
 ■県産牛肉の消費拡大

〈生産振興対策〉
 ○ 宮崎の農業「強い産地づくり」対策事業【973百万円】
 ○ 畜産競争力強化整備事業【4,800百万円】
 ■高収益化に向けたハウス・畜舎等の整備

改 みやざきの養鶏産業支援事業【25百万円】
 ■養鶏経営における総合対策

○ みやざき農畜水産物の架け橋構築事業【38百万円】
 ■農畜水産物の一体的なPR

“農の魅力を支える” 力強い農業・農村の実現

○ G7から始まる官民連携農業プロジェクト事業
【47百万円】
■地域資源の有効活用に向けた取組の事業化の促進

〔新〕 農業カーボンクレジット認証スタートアップ事業
【7百万円】
■農業分野でのJ-クレジット制度のモデル構築

○ 未来へ繋ぐ施設園芸スタイルシフト推進事業
【35百万円】
■輸入資源に過度に依存しない施設園芸への移行

○ 脱炭素をめざす省エネ型施設園芸設備導入推進事業
【15百万円】
■ヒートポンプ等省エネ技術の導入促進

〈有機農業等推進〉
○ みやざき有機農業拡大加速化事業 【28百万円】
○ 持続可能なみやざきグリーン農業構築事業 【66百万円】
■環境に優しい技術の実証、有機農業産地づくり

〔新〕 粗飼料100%「宮崎アクション」実践事業
【58百万円】
■粗飼料の生産・利用拡大

○ 未来につなぐ畜産バイオマス利活用支援事業
【217百万円】
■畜産バイオマスの利用拡大

〔新〕 中山間地域農業・農村デジタルサポート事業
【10百万円】
■中山間直接支払制度等の手続きのデジタル化

○ 未来に繋ぐ世界農業遺産地域活性化事業
【21百万円】
■世界農業遺産の魅力や関係人口の創出・拡大

〔新〕 ICTを活用した総合的鳥獣被害対策実現事業
【45百万円】
■鳥獣被害対策のデジタル化

〔改〕 「4本柱」で支えるひなた家畜防疫体制事業
【71百万円】
■家畜防疫体制の維持・強化

〈獣医師確保〉
○ ひなたの獣医師確保修学資金給付事業 【17百万円】
○ ひなたを支える獣医師確保事業 【16百万円】
■獣医師確保対策

〈原油価格・物価高騰等対策〉
○ みやざきの農を支えるひなた資金融通事業 【23百万円】
○ 青果物価格安定対策事業 【208百万円】
〔新〕 施設園芸長寿命化緊急支援事業 【41百万円】
○ 畜産経営飼料高騰対策支援事業 【360百万円】
○ 宮崎県和牛繁殖経営維持緊急対策事業 【73百万円】
○ 乳用後継牛育成預託支援緊急対策事業 【13百万円】
〔新〕 酪農経営体質強化緊急支援事業 【31百万円】
■資金融通や農家の経営安定

「第六次宮崎県水産業・漁村振興長期計画」

人口減少社会に対応した生産環境の創出

〔改〕 養殖ブリ人工種苗量産化事業 【5百万円】
■ブリ人工種苗の量産化

○ 未来へつなぐ漁業担い手育成総合対策事業 【11百万円】
■高収益型漁業への転換、外国人材受入れの円滑化

成長をつかむ高収益化と流通改革

○ 漁業DXによる担い手確保育成事業 【28百万円】
■担い手確保・人材育成支援、DX化による魚価向上

〔新〕 IoTを活用した陸上海藻養殖導入支援事業 【16百万円】
■海ぶどうの陸上養殖栽培システムの導入

○ 安全・安心な養殖魚の生産拡大事業 【3百万円】
■漁場環境評価・養殖魚疾病発生予防の強化

○ 県産キャビア競争力強化技術開発事業 【3百万円】
■全メス種苗の生産技術の開発

水産資源の最適な利用管理と環境保全への対応

〔新〕 漁港・漁場グリーン化事業 【60百万円】
■漁港での藻場造成によるブルーカーボンの創出

○ 養殖グリーン成長戦略推進事業 【10百万円】
■天然資源や漁場環境への負担軽減

〔改〕 資源管理イノベーション事業 【16百万円】
■資源の造成を促進

成長産業化を支える漁村の基盤強化

〔新〕 「海業」ビジネス創出事業 【2百万円】
■漁港等の新たな地域資源を活用した「海業」の創出

○ プレジャーボート適正管理強化事業 【12百万円】
■プレジャーボートの適正管理の強化

〔新〕 水産試験場施設整備事業 【160百万円】
■水産試験場の施設整備に係る設計

○ 水産基盤（漁港）整備事業 【1,497百万円】
■漁港の地震・津波対策、老朽化対策

全国初

新 G7宮崎発ピーマン自動収穫技術活用事業

農業普及技術課 23,997千円
【財源：国庫、宮崎再生基金】

事業の目的

※官民でのピーマン自動収穫ロボット
に対応した栽培体系の検証は全国初

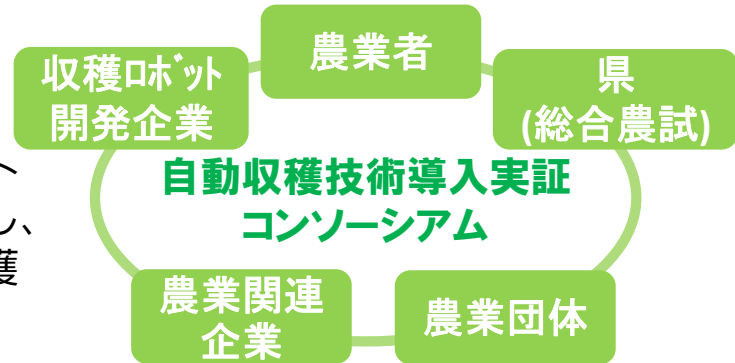
G7宮崎農業大臣会合で採択された「宮崎アクション」の実現に向け、農業生産のイノベーションにより産地を維持拡大し、持続可能な農業の基盤を築くため、ピーマン自動収穫技術に対応した栽培体系を確立する。

事業の概要

(1) 事業内容

○ 自動収穫技術導入実証事業

総合農業試験場や協力農家のほ場において、自動収穫ロボットを試験運用することにより、自動収穫技術導入の課題等を整理し、官民で組織するコンソーシアムで共有・検証することで自動収穫に最適化された栽培体系を確立



(2) 事業の仕組み

○ 県、県 コンソーシアム

(農業者、農業団体、収穫ロボット開発企業、農業関連企業等)

(3) 成果指標

自動収穫に最適化された栽培体系の確立

自動収穫ロボット導入農家 現状（令和5年度）0件 → 令和7年度 15件



ピーマン自動収穫ロボット

事業の期間

令和6年度～令和7年度

【別紙】 新 G7宮崎発ピーマン自動収穫技術活用事業

ピーマン自動収穫技術に適した栽培体系の確立に向け、官民からなるコンソーシアムで取組を推進

自動収穫に適した「管理方法」の検討

管理方法等の異なる複数のハウスにおいて検討

- ・ 枝や葉の混み具合が与える影響
- ・ 何日おきの収穫が適切か
- ・ ロボット設置に適したハウスの構造 等



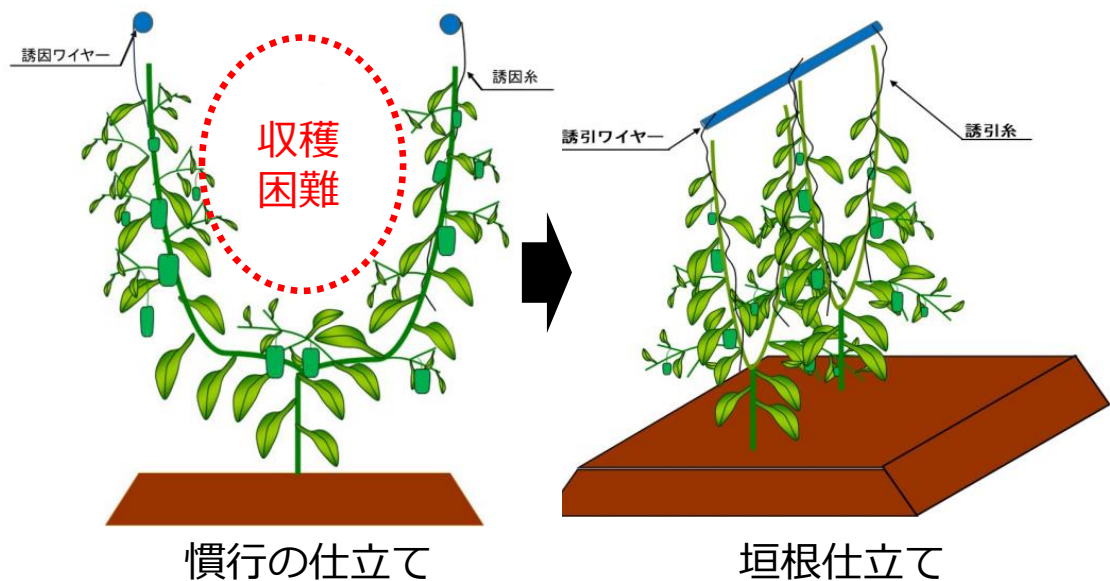
枝の近くや葉に隠れたピーマンの収穫は困難

自動収穫に適した「仕立て方」の検討

ロボットが収穫しやすいよう奥行きが少ない仕立て方「垣根仕立て」等の検討



自動収穫ロボットのアーム



慣行の仕立て

垣根仕立て

新 スマート&グリーンで目指す耕種農業産出額UP事業

農産園芸課 18,023千円
【財源:国庫、一般財源】

事業の目的

SSR(施設園芸・水田農業・露地園芸)運動の目標である耕種農業の産出額100億円UP達成のため、品目と対象を絞った緊急対策と、スマート化・グリーン化に対応した産地づくりに取り組む。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 産出額UP緊急対策事業（補助率1/2、1/3以内）
主要品目の産出額増加に直結する施設・機械整備、栽培環境改善を支援
- ② スマート&グリーン産地育成事業（補助率1/2以内）
スマート化・グリーン化の視点に立った産地づくりに向けた調査・実証活動を支援

(2) 事業の仕組み

- ① 県 補助 → 市町村 補助 → 営農集団、農業法人等
- ② 県 補助 → 市町村・農業協同組合等

(3) 成果指標

耕種農業の産出額 現状（令和4年）1,119億円 → 令和8年 1,287億円（H30比：+100億円）



事業の期間

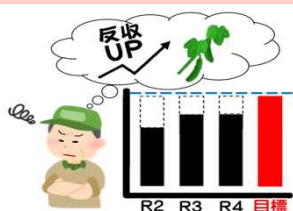
令和6年度～令和8年度

【別紙】**新** スマート&グリーンで目指す耕種農業産出額UP事業

① 産出額UP緊急対策事業

主要品目の反収UPにつながる
施設・機械の整備、栽培環境改善を支援

品目・対象を絞った緊急的な対策



「反収UP可能な」
施設野菜品目



「反収・出荷量減少」
加工・業務用野菜

きゅうり
ピーマン等

さといも・ほうれんそう
だいこん等 9品目

SSR運動 主要品目

【施設園芸】

CO₂発生装置等の導入による反収UP



CO₂発生装置

CO₂の局所施用

【露地野菜】

排水性・土壌環境の改善による反収UP



排水対策

土づくり

~R8までに

施設野菜
反収30%UP

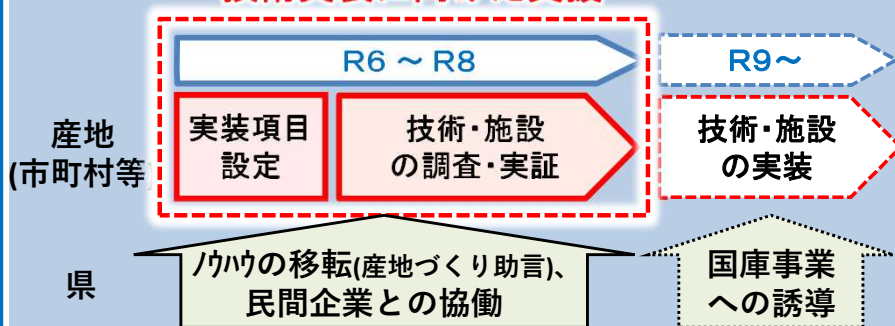
露地野菜
反収10%UP

収量UPによる産出額の向上

② スマート&グリーン産地育成事業

スマート&グリーン技術の実装に取り組む
産地の必要な調査・実証活動を支援

技術実装に向けた支援



スマート&グリーンを実装した産地

普及型スマートハウス団地



低コスト環境制御技術の実装
+
有機養液による栽培

加工・業務野菜のグリーン産地



スマート農業機械体系
+
有機肥料による減化学肥料栽培

省力型スマート果樹団地



ドローン防除体系
+
低樹高による減農薬栽培

R9以降~

施設野菜
生産量
10%UP

露地野菜
生産量
10%UP

露地果樹
生産量
10%UP

技術革新による産出額の積上げ

耕種農業の産出額

100億円UP

実現



新 粗飼料自給率100%「宮崎アクション」実践事業

※地域コンソーシアムへの
コンサルタント派遣は九州初

畜産振興課 57,560千円
【財源:国庫、日本一挑戦基金、一般財源】

事業の目的

G7宮崎農業大臣会合で採択された「宮崎アクション」等を踏まえ、粗飼料自給率100%に向けた取組を加速化し、国際情勢の影響を受けにくい持続可能な畜産経営への転換を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 粗飼料生産・利用加速化事業（補助率定額、1/3以内）
 - ・地域コンソーシアム等の機能強化のためのコンサルタント支援
 - ・粗飼料等の生産・利用拡大のための機械・施設整備支援
 - ・堆肥マッチングサイト整備・普及啓発研修会開催
- ② 飼料生産組織人材確保事業
 - ・飼料生産組織におけるオペレーター人材ニーズ調査
- ③ 中山間地域放牧推進事業（補助率定額、1/3以内）
 - ・放牧推進に向けた簡易造成等・普及啓発研修会開催支援

飼料生産に必要な施設・機械を支援



飼料保管庫の整備



飼料生産機械の導入

放牧推進に向けた支援

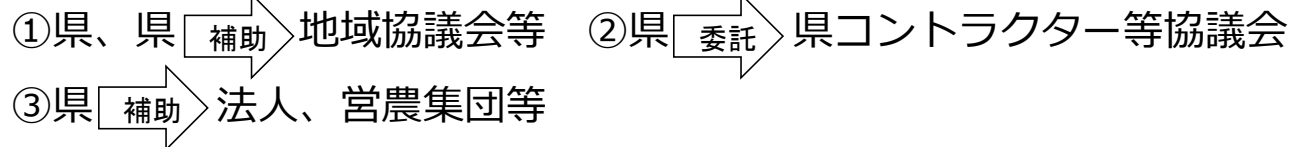


放牧地の整備



普及啓発研修会

(2) 事業の仕組み



(3) 成果指標

粗飼料自給率 現状（令和3年）88.0% → 令和8年 100%

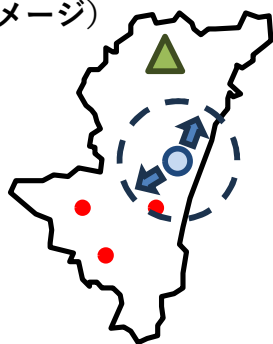
事業の期間

令和6年度～令和8年度

【別紙】 新 粗飼料自給率100%「宮崎アクション」実践事業

地域毎に発足したコンソーシアム等

現状 (イメージ)



事業効果

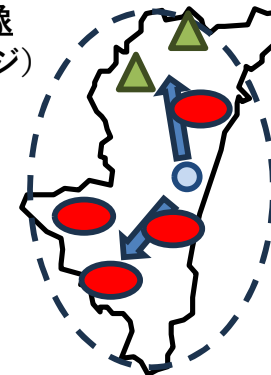
地域コンソーシアム※1の面的拡大

基幹コントラクター※2の地域を越えたエリアの拡大

中山間地域での放牧の拡大

地域を越えた飼料生産・供給体制が確立

将来像 (イメージ)



- ▲ 放牧
- 地域コンソーシアム
- 基幹コントラクター組織 (○ 受託可能範囲)

- ※1 畜産・耕種農家等を構成員とする地域資源の円滑な利用を目指す組織
- ※2 地域外も活動範囲とする受託組織

①粗飼料※3生産・利用加速化事業

ア. コンサルタントによる地域コンソーシアム等の機能強化

イ. 機械・施設整備により粗飼料等の生産・利用拡大を支援



ウ. 自給率向上に資する堆肥マッチングサイト整備・普及啓発研修等

②飼料生産組織人材確保事業



繁忙期における異業種からのコントラクターのオペレーター人材確保によるエリア拡大

③中山間地域放牧推進事業



中山間地域における自給飼料確保に向けた条件整備・研修会の開催

粗飼料自給率100%達成

※3 牧草、稲わら等の牛のエサ

② 農地集約化基盤整備事業

農村整備課 5,034千円

【財源：一般財源】

事業の目的


地域農業を守る担い手への農地集積・集約化を促進するため、きめ細やかな基盤整備の支援を行うことにより、農地の高度化や農作業の効率化・省力化を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 小規模基盤整備（補助率1/2以内、上限額2,000千円）
農地集積・集約化のための畦畔除去、整地工、暗渠排水、用排水施設、耕作道等のうち、国庫補助事業の対象とならない整備を支援
- ② 農地集積・集約化支援（補助率定額、上限額500千円）
「①小規模基盤整備」に必要な現地調査等への支援

(2) 事業の仕組み

- ①②県  市町村、土地改良区、農業協同組合

(3) 成果指標

農地集約化事業で整備した面積 令和3年度～令和5年度まで 延べ 22.5ha
令和8年度まで 延べ 45.0ha



畦畔除去・整地工

事業の期間

令和6年度～令和8年度

【別紙】

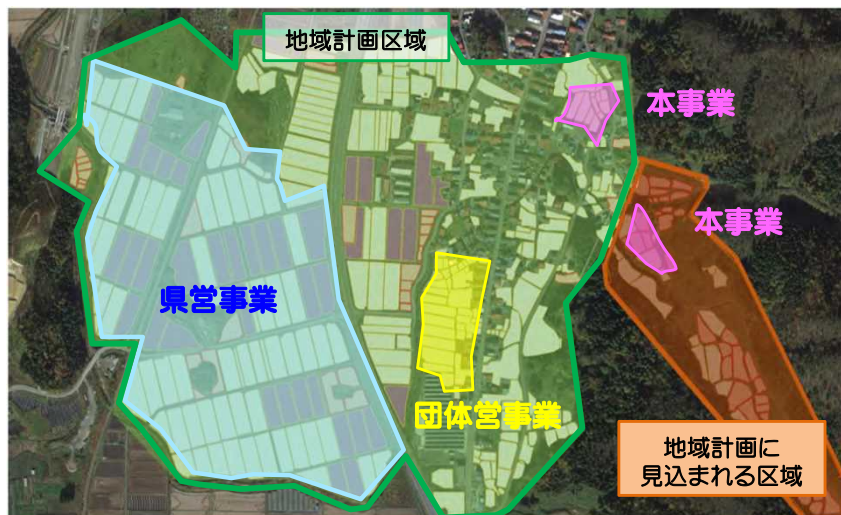
改 農地集約化基盤整備事業

① 小規模基盤整備

「地域計画」等に位置づけられた経営体（基盤整備を契機に地域計画への追加が見込まれるもの含む）が農地の集積・集約を進めるために必要な基盤整備を支援。

○ 国庫補助の要件に満たさない

- ・ 畦畔除去による区画拡大（農作業の効率化等）
- ・ 暗渠排水による乾田化（高収益作物への転換等）
- ・ 客土、土層改良による作土の改善（収量・品質向上等）
- ・ 耕作道の整備（大型農業機械の導入促進等） 等



② 農地集積・集約化支援

国庫補助事業で実施できない小規模な基盤整備を進めるための現地調査や図面作成等を支援。



地域農業を守る担い手への農地集約を実現

改 農業外国人材確保・定着体制構築強化事業

担い手農地対策課 31,188千円
【財源:国庫、宮崎再生基金、その他、一般財源】

事業の目的

国内外で人材獲得競争が激化する中、外国人材の円滑な確保や受入れに向け、海外教育現場への講師派遣や公営住宅の活用推進等各取組の強化により、農業分野で先行して外国人材の確保・定着体制を構築する。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 受入れ体制構築事業（補助率 1 / 2 以内）
監理団体の県内誘致活動及び外国人コンシェルジュ運營業務に対する支援
- ② 新たな受入れ方式確立事業（補助率 1 / 2 以内）
インターンシップ等の新たな受入れ方式の検証活動等に対する支援
- ③ 定着支援事業（補助率定額）
農業者向け研修会の実施、農作業請負方式技能実習の推進強化
- ④ 海外教育機関等連携強化事業（拡充）
海外宮崎クラスへの講師派遣・授業拡充、本県の魅力 P R 活動の強化等
- ⑤ 住居確保対策加速化事業（補助率 1 / 3 以内）（追加）
公営住宅活用マニュアルの作成、市町村営住宅の活用モデル実証支援



【ベトナム国立農業大学における宮崎クラス創設】

(2) 事業の仕組み

- ① 県、県  監理団体等 ② 県  協議会 ③ 県、県  協議会 ④ 県 ⑤ 県、県  市町村

(3) 成果指標

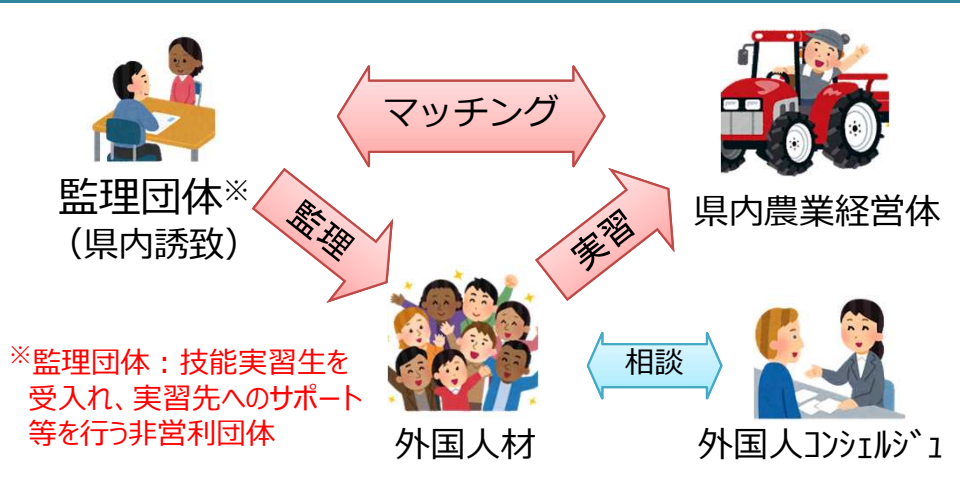
農業分野における外国人材数 現状（令和4年）828人 → 令和7年 1,800人

事業の期間

令和6年度～令和7年度

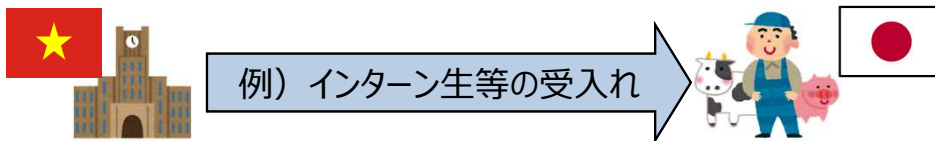
【別紙】 改 農業外国人材確保・定着体制構築強化事業

① 受入れ体制構築事業



② 新たな受入れ方式確立事業

海外教育機関との連携合意等に基づく人材受入れ



③ 定着支援事業



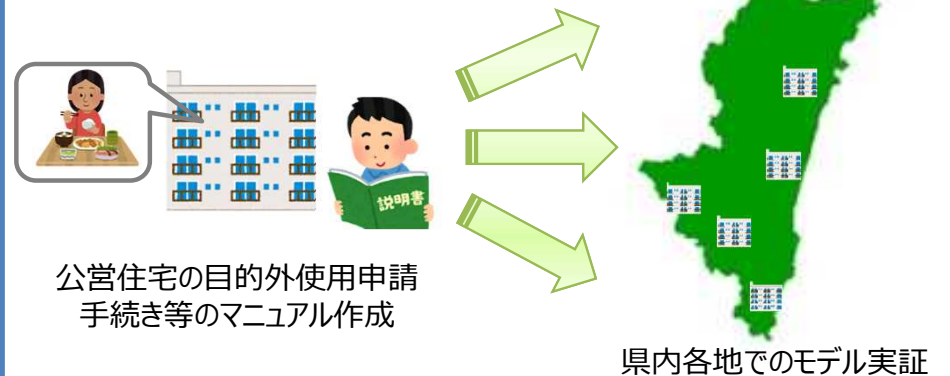
④ 海外教育機関等連携強化事業 (拡充)

- 海外宮崎クラスへの講師派遣・授業拡充
- 現地での本県の魅力PR活動 等



⑤ 住居確保対策加速化事業 (追加)

- 公営住宅活用マニュアルの作成
- 市町村営住宅の活用モデル実証支援 (1/3補助)



令和5年度補正予算 【農政水産部関係】原油価格・物価高騰等緊急対策事業一覧

R6.2.2時点

| | | R4年度 補正予算 | |
|-----|---|---|--------|
| | | < 3,034百万円 > | |
| 燃油 | 農 | 農業セーフティネット対策緊急強化事業(6・11月補正) > 国事業への農家積立金相当額の一部を支援 | 412百万円 |
| | | みやざき施設園芸省エネ転換緊急対策事業(6月補正) > 省エネ化(ヒートポンプ導入等)を支援 | 264百万円 |
| 資材等 | 農 | 被覆資材等価格高騰対策緊急支援事業(6月補正) > 農業用被覆資材の価格上昇分の一部を支援 | 852百万円 |
| | 畜 | 乳用後継牛育成預託支援緊急対策事業(11月補正) > 酪農公社における預託料金の値上げ相当分の一部を支援 | 11百万円 |
| | | 鶏卵生産費高騰緊急対策事業(11月補正) > 鶏卵生産原価の掛り増し経費の一部を支援 | 90百万円 |
| | 水 | 漁業用資材等価格高騰対策緊急支援事業(6・9月補正) > 漁業用資材価格上昇分の一部を支援 | 44百万円 |
| 肥料 | 農 | 堆肥等利活用促進緊急体制整備事業(6月補正) > 堆肥の利用促進に向けた人材育成や体制整備を支援 | 15百万円 |
| | | 肥料価格高騰対策支援事業(9・11月補正) > 肥料価格上昇分の一部を支援 | 613百万円 |
| | | 堆肥活用低コスト肥料供給体制構築支援事業(11月補正) > 豚ふん堆肥を活用した低コスト肥料の安定供給に向けた生産体制強化を支援 | 105百万円 |
| 飼料 | 農 | 県産肥飼料実需農家利用促進事業(11月補正) > 県産肥飼料を利用するための施設等の整備を支援 | 53百万円 |
| | 農 | 稲作経営基盤強化対策事業(6月補正) > 飼料用米の生産拡大を行う農家等への機械等の導入を支援 | 100百万円 |
| | 畜 | 畜産セーフティネット対策緊急強化事業(6月補正) > 配合飼料価格安定制度への生産者積立金相当額の一部を支援 | 371百万円 |
| | 水 | 養殖用餌料価格高騰対策緊急支援事業(9月補正) > 養殖用餌料原魚の価格上昇分の一部を支援 | 70百万円 |
| 電気 | 農 | 農業水利施設電気料金高騰対策緊急支援事業(11月補正) > 農業用水利施設にかかる電気料金上昇分の一部を支援 | 26百万円 |
| | | | |
| その他 | - | 燃油等価格高騰緊急対策情報発信事業(6月補正) > 生産者への情報(対策・支援)を迅速に周知 | 8百万円 |
| | | | |
| | | | |

継続

継続

継続

繰越

継続

継続

| | | R5年度 補正予算 | |
|--|--|--|--------------------------|
| | | < 2,505百万円 > | |
| | | うちR5年度2月補正予算案 | |
| | | < 545百万円 > | |
| | | 農業セーフティネット対策緊急強化事業(6月補正) > 国事業への農家積立金相当額の一部を支援 | 275百万円 |
| | | 新漁業セーフティネット等対策緊急支援事業(6・11月補正) > 国事業への漁業者・養殖業者等積立金相当額の一部を支援 | 302百万円 |
| | | Ⓞ被覆資材等価格高騰対策緊急支援事業(6・11月補正) > 農業用被覆資材の価格上昇分の一部を支援 | 520百万円 |
| | | 乳用後継牛育成預託支援緊急対策事業(6月補正) > 酪農公社における預託料金の値上げ相当分の一部を支援 | 35百万円 (2月補正案 13百万円) |
| | | 新みやざき地頭鶏ひな導入確保支援事業(6月補正) > みやざき地頭鶏の素ひな導入費用の一部を支援 | 10百万円 |
| | | 新施設園芸ハウス長寿命化緊急支援事業(2月補正) > 既存ハウスの長寿命化に要する経費を支援 | 41百万円 |
| | | 堆肥等利活用促進緊急体制整備事業(11月補正) > 堆肥の利用促進に向けた体制整備を支援 | 46百万円 |
| | | 【繰越】肥料価格高騰対策支援事業 > 肥料価格上昇分の一部を支援 | |
| | | 【繰越】堆肥活用低コスト肥料供給体制構築支援事業 > 豚ふん堆肥を活用した低コスト肥料の安定供給に向けた生産体制強化を支援 | |
| | | 【繰越】県産肥飼料実需農家利用促進事業 > 県産肥飼料を利用するための施設等の整備を支援 | |
| | | Ⓞ畜産経営飼料高騰対策支援事業(6・11・2月補正) > 配合飼料価格安定制度への生産者積立金相当額の一部を支援 | 893百万円 (2月補正案 360百万円) |
| | | Ⓞ畜産飼料流通効率化緊急支援事業(2月補正) > 飼料残留測定装置等の導入を支援 | 18百万円 |
| | | Ⓞ農業水利施設電気料金高騰対策緊急支援事業(6月補正) > 農業用水利施設にかかる電気料金上昇分の一部を支援 | 29百万円 |
| | | Ⓞ漁業用製氷施設の省エネ推進対策事業(6月補正) > 製氷施設に係る電気料金高騰分の一部を支援 | 23百万円 |
| | | Ⓞ家畜疾病発生低減対策支援事業(6月補正) > 診察やウイルス抗体検査等に要する経費の一部を支援 | 20百万円 |
| | | Ⓞ宮崎県和牛繁殖経営維持緊急対策事業(9月・2月補正) > 子牛価格下落分に係る国事業に一部を上乗せして支援 | 254百万円 (2月補正案 73百万円) |
| | | Ⓞ酪農経営体質強化緊急支援事業(2月補正) > 生乳出荷量増加に伴う生産費の一部を支援 | 31百万円 |
| | | Ⓞ県産牛肉消費拡大緊急対策事業(2月補正) > 県産牛肉の消費拡大等の取組を支援 | 9百万円 |